

佐賀大学・佐賀市連携公開講座「幕末の歴史から見える「佐賀の底力」3

主催	佐賀市・佐賀大学地域学歴史文化研究センター	
日時	平成25年5月～9月 土曜日 10:00～12:00	
時間数	5回×2時間	
対象	市民一般	
場所	佐賀大学本庄キャンパス、全学教育機構1号館111番教室	
定員	100名	
受講料	無料	
概要	佐賀が先進的な活動をしていた幕末～明治期を中心に、「九州・山口の近代化遺産群」の三つの柱の中の「造船」にスポットをあてて学習し、その学びの機会をとおして、佐賀の歴史遺産の今と未来について考えます。	
講義内容	①九州・山口の近代化産業遺産群と三重津海軍所跡	
	日時	5月25日(土)10:00～12:00
	場所	佐賀大学全学教育機構111番教室
	講師	鹿児島県文化遺産課
	内容	「九州・山口の近代化産業遺産群」の構成資産である三重津海軍所跡の価値についてわかりやすく解説します。また鹿児島県の構成遺産についても紹介します。
	②佐賀の幕末概論	
	日時	6月22日(土)10:00～12:00
	場所	佐賀大学全学教育機構111番教室
	講師	財団法人鍋島報効会富田紘次
	内容	幕末～明治期における佐賀藩の近代化の取り組みを三重津海軍所を中心にわかりやすく解説します。
	③「初期造船史における三重津海軍所」	
	日時	7月27日(土)10:00～12:00
	場所	佐賀大学全学教育機構111番教室
	講師	佐賀市世界遺産調査室 前田達男
	内容	三重津海軍所が初期造船のどの位置を象徴する遺産なのかなど、近代造船の歴史を紹介し、わかりやすく解説します。
	④「長州藩と佐賀藩の幕末歴史遺産のつながり」	
	日時	8月31日(土)10:00～12:00
	場所	佐賀大学全学教育機構111番教室
	講師	萩市博物館
	内容	萩市には、「九州・山口の近代化産業遺産群」の構成資産として恵美須ヶ鼻造船所跡、萩反射炉があります。反射炉及び造船所は、欧米列強の圧力に危機感を持った長州藩が自力での近代化を目指し、造られました。同じく欧米列強の圧力に危機感を持ち、自力による近代化を目指した佐賀藩の反射炉及び三重津海軍所とのつながり等をわかりやすく解説します。
	⑤「国史跡 三重津海軍所跡」	
	日時	8月31日(土)10:00～12:00
	場所	佐賀大学全学教育機構111番教室
	講師	佐賀市世界遺産調査室 前田達男
	内容	平成25年3月27日に国史跡となった「三重津海軍所跡」について詳しく解説します。